

【事例2】野菜の苗(葉)にアブラムシ発見！ 子供・保育者の動きと、保育者の動きを支える思い

要領・指針	(1)身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ。 (2)身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり考えたりし、それを生活に取り入れようとする。
保育者の願い	・野菜の栽培を通して、野菜が生長していく様子を見て、自然や生命の不思議・尊さを感じてほしい。 ・様々な発見と一緒に活動する楽しさや目的に向かって活動する「ワクワクドキドキ」を感じてほしい。 ・野菜の栽培の経験が食べる意欲に繋がってくれたらいいな。
生活経験	・野菜の図鑑や栽培方法の分かる本をクラスに設置している。 ・昨年度の年長児が園の畑等で野菜を育てていた。

子供の動き

保育者の働きかけ

保育者の思い

ある朝

A:黒い“てんてん”が増えている！
B:何だろう？大丈夫かな…？
C:図鑑で調べてみよう。

A:え～どうしよう・・・
B:やっつけたらいいよ！
C:どうしたらいいかな？
B:もっと図鑑で調べてみよう。

A:電気！
B:宝石！
C:ピカピカの折り紙！
B:保育所に折り紙だったらあるよね。
A:金のおりがみ置いてみようよ。
B:ぶら下げたらいいよ。
C:下に置いてみたらどう？

A:家で畑をしているよ！

A:たばこのにおいが嫌みたいだよ。
B:牛乳薄めたらいいんだって。

T:でも、あんまり減らないね。他にもよい方法はないかな？

T:じゃあ、おうちの人にも聞いてみる？おうちでも調べてみたら何か分かるかもしれないね。

T:何かね・・・？先生も図鑑で探してみるね。(見せながら)あっ！これじゃない？(書いてあることを読む)アブラムシだって。アブラムシは、葉っぱを食べちゃうんだって。

T:アブラムシはキラキラしたものを嫌がるんだって。キラキラしたもののって何かな？

- 昨年の年長児がしていた栽培活動を自分たちもやりたいという気持ちを受け止め、子供たちと一緒に育てたい。
- 野菜を育てる過程を知り、大変さや大事に育てる気持ちを味わってほしい。
- 見る、触れるなどの体験を大事にしたい。

- 野菜ができるまでにはいろいろな過程がある。うまくいかないことや思いがけないこともあるかもしれない。自然の不思議さを味わう機会になればいいな。
- 何とかしたいな、解決できる方法はないかなと考える機会になればいいな。愛着をもって野菜を栽培する体験につなげたい。

- 調べたり考えたりする過程を楽しんでほしい。また、互いに意見を伝え合う体験ができたらいいな。
- 身近な方法を試してみることで、子供たちの新たな発見につながるのではないかな。
- 図鑑で調べる、身近な人に聞くなど、様々な方法で物事を進め、試してみる体験が、好奇心や探求心に繋がっていくのではないかな。

キーワード：調べたり考えたりする 過程を楽しむ